

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1101	中国哲学史特殊研究 <Specialized Studies in theHistory of Chinese Philosophy>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
中国哲学	吉田 純(YOSHIDA Jun)		前期	金曜：4限
講義題目 Title	清朝考証学の群像			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	原典解読の授業ではありませんが、能動的な学習意欲を持ち、毎回出席することが求められます。他研究科院生履修不可です。			
授業の目的 Purpose	中国清代の学術、さらには中国哲学史全般に関する知識を習得することを目的とします。 The purpose of this lesson is learning knowledge of classical studies in Qing China and the history of Chinese philosophy.			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>パワーポイントを用いて自著『清朝考証学の群像』の本文をスクリーンに映し出し、考証学者の生活や生き方を主眼に清朝考証学について解説します。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回：呉棫の顕彰 第2回：非早熟的知性と清朝考証学関する一考察 第3回：野人的師傅と古音学 第4回：生員の学問 第5回：『尚書古文疏証』とその時代 第6回：閻若璩と『尚書古文書疑』 第7回：閻若璩の最期 第8回：閻家の家業とその盛衰 第9回：功令と『孔氏伝古文尚書』の辨疑 第10回：閻詠と『尚書古文疏証』 第11回：閻学林と『尚書古文疏証』 第12回：紀昀と『閻微草堂筆記』 第13回：事物の相对視 第14回：“理”からの脱却 第15回：理・情・礼</p> <p>定期試験</p>			
教科書 テキスト Textbooks	授業毎回ごとにコピーを配布します。			
参考書 References	<p>吉田純『清朝考証学の群像』（創文社、2006年）</p> <p>狩野直喜『中国哲学史』（岩波書店、1953年）</p> <p>木下鉄矢『清朝考証学とその時代』（創文社、1996年）</p>			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	<p>受講生の自宅学習</p> <p>知識を習得してゆくことの積み重ねですから、授業で解説した内容が身につくよう、復習を十分にすることが大切です。</p>			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	出席20%、期末試験80%の割合で成績を評価します。			

連絡方法
Contact
information

随時中国哲学リテラボで対応します。メールも受け付けます。メールアドレスは、jun@lit.nagoya-u.ac.jpです。